

【新庁舎】職員WG市民活動支援部会 会議録（第4回）

1. 開催日時 平成30年10月26日（月）午前9時～10時
2. 開催場所 富良野文化会館 応接室
3. 出席者 8人（欠席0人）、担当委員
4. 協議内容

10月11日開催の市民ワークショップでの意見を参考に、（1）市民ワークショップで出された意見について、（2）市民活動支援機能（文化会館大ホール機能）について検討をしました。

（1）市民ワークショップで出された意見について

①ホールの規模600席が必要か？固定席又は可動式で多目的な利用か？

有名アーティスト等が講演できる専用ホール or 市民活動を支えるホールの見定めが必要

—市民利用はもとより、プロフェッショナルの利用、全道規模のイベントを開催できるように一定規模が必要では、可動式座席については、当麻町・砂川市などの導入事例を参考に、メリット・デメリット、座席収納時の利用方法などを調査すべき。

②新施設には防音がしっかりした施設が必要

—近年建設のホールでは、リハーサル室を設けており、必須ではないか。

③音楽イベントに対応できるように音が響くようにすべき。

—演劇工場と違いを明確にしていく必要があるのではないか。

④現状舞台袖が無く使いづらい、使い手を考えた環境・機能・空間・設備を検討してほしい。

—舞台袖の広さ、可動式反響板の設置など検討

（2）市民活動支援機能について

ア.市民協働・交流機能 イ.文化会館ホール機能 ウ.多目的機能に分け、まずはイ.文化会館ホール機能について意見を出しあった。

①舞台

- ・演劇工場と用途分け、音楽向けの多目的利用を可能とする舞台・十分な舞台袖
- ・可動式反響板の設置
- ・檜舞台でなくてもいいのでは？
- ・緞帳（どんちょう）はいらない。
- ・奈落の必要性？
- ・オーケストラピットの必要性？

②音響・照明・収納

- ・音響、照明を必要な時は客席に設置できるように電源等を設置
- ・音響室・照明室に休憩スペースも必要
- ・電球交換、メンテナンスのためのキャットウォークが必要
- ・舞台に隣接して用具室、作業場の設置、文化協会等の大小道具収納場所
- ・フルコンタイプのピアノ購入、湿度管理できるピアノ収納室の設置

③客席

・可動式座席のメリット、収納時平土間の利用方法は？当麻町、砂川市の状況を調べる。

- ・固定座席の方がいいのでは（メンテナンス、故障、振動）
- ・座席の配置は、舞台が近くなるように横幅を広く、奥行きを狭くする。
- ・親子室の設置（4組くらいは入れるスペース）
- ・車椅子席・手すりの設置（高齢者・障がい者に配慮した同線と設備）
- ・床暖（客席）音対策
- ・音楽イベントに対応できるように反響するような作り

④ホワイエ

- ・トイレは札幌市のわくわくホリデーホールのような配置（男女適切な数）
- ・ホールの様子が見られるモニターの設置
- ・ロッカーの設置

⑤楽屋

- ・楽屋とホワイエの導線確保
- ・大中小の楽屋の数を多く
- ・舞台の状況がわかるようにモニター設置
- ・ケータリングスペース
- ・楽屋（ホール）と客との遮断扉
- ・トイレ、シャワールーム、洗濯機の設置

⑥搬入口

- ・トラックを横付けできる搬入口
- ・搬入口と舞台への導線

⑦その他必要と思われる施設

- ・指定管理の検討
- ・守衛室
- ・防音リハーサル室
- ・託児室、授乳室、キッズスペース、キッズトイレ
- ・展示スペース（文化祭）
- ・防音間仕切りの中ホール（舞台付き）※現大会議室
- ・交流スペース（ロビー）

（3）次回以降の検討事項確認

- ・ア.市民協働・交流機能 ウ.多目的機能について検討し、中間報告に向け整理する。
- ・文化団体との意見交換の場を設ける。

次回の開催予定は11月中旬